

ちむ美らさ

第117号

発行：北部農林水産振興センター
農業改良普及課

住所：沖縄県名護市大南1-13-11

電話：0980-52-2752

FAX：0980-51-1013



さとうきび増産は雑草対策が鍵！

雑草はさとうきびに与えた肥料を盗み食いするだけで無く、日光を遮断することで分けつが押さえられ生育が悪くなります。それだけで無く、ロータリに巻き付く、収穫期はつる性雑草がさとうきびに巻き付き収穫作業の邪魔をするなど作業性も悪くなります。効率的に雑草対策を行うことが大事です。

1 雑草防除の重要性

右の写真は2013年に農業研究センターにより撮られた写真です。植付直後に土壤処理除草剤を使用した区以降1ヶ月毎に雑草防除を行い生育差がどの程度出るのかを比較したものです。

植付直後一日も早く雑草対策を行うことが重要です。

2 雑草対策

①植付前にラウンドアップ等で一斉処理

ヤブガラシなど防除の難しい雑草もあります。

さとうきびを植え付ける前に除草剤を散布しましょう。

※ポイント！ 花がつく前まで雑草を繁茂させ、根まで枯らす除草剤を使用しましょう。

②植付直後の土壤処理で発芽抑制

植付前に除草しても、畑には雑草の種が残っています。植付直後にDCMU剤等土壤処理型除草剤で雑草の発芽を抑えましょう。

※ポイント！ 畑表面にきれいに除草剤のマクを作るため、ある程度畑に水分がある状態で散布すると効果が高くなります。

③さとうきび栽培期間中の除草剤(茎葉処理)

除草剤には広場雑草に強いもの、イネ科雑草に強いものなど特徴があります。雑草をみて、除草剤を選ぶようにしましょう。

※ポイント！ 複数の除草剤を混合し利用する場合は、使用基準の7割程度を目安に使用しましょう。薬害が起こることがあります。

- 目次 -

1P・さとうきび雑草対策

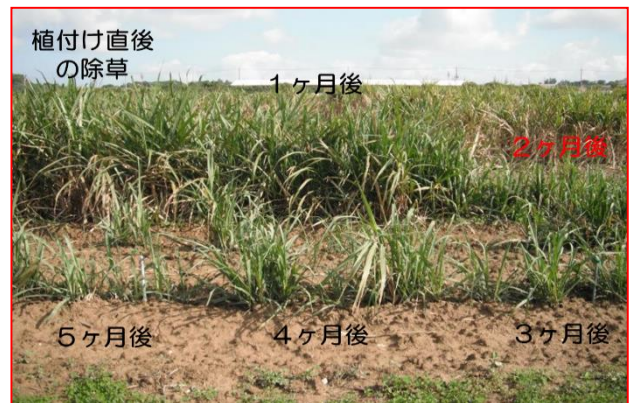
2P~3P

・台風対策

(果樹・野菜・花き)

4P・伊平屋島駐在情報

メイチュウ対策



土壤処理剤の効果試散布2ヶ月後

(担当：川之上)

果樹の台風対策事例

マンゴーの台風対策

事前対策

- (1) 風害抑制のため、ハウス外に防風ネットや防風垣を設置しましょう。
- (2) 強化型ハウス等は、内側にもネットを設置すると、防風効果が高くなります。
- (3) 枝が損傷した場合、かいよう病の原因となるので、殺菌剤を散布しましょう。



風すれ・塩害による葉の枯れ症状

事後対策

- (1) 塩害対策として樹全体に散水しましょう。

(担当: 仲宗根)

パイナップルの台風対策

事前対策

- (1) 植付後の苗は台風対策として日焼け防止ネット等をべたがけし、鉄筋等で周囲を抑え対策しましょう。
- (2) 収穫前の圃場では、倒伏防止・鳥獣害対策も兼ねてパイプ等で支え、ネットをパッカー等で押さえて、株全体を覆うようにしましょう。



日焼け防止ネットのべたがけ

事後対策

- (1) 植付苗の芯部に入った土を殺菌剤で除去しましょう。
- (2) めくれた日除ネットや紙袋等は早急に直し、日焼け対策を行いましょう。

(担当: 伊波)

カンキツの台風対策

かいよう病を防ごう!

事前対策

- (1) 高接ぎや苗については、新梢を棒で固定するなどして、折損防止に努めましょう。
- (2) 防風林が未整備の場合、防風ネットの設置等に努めましょう。
- (3) 台風後の病害発生(特にカンキツかいよう病)を防止するため、台風接近1~3日前に殺菌剤を散布して予防に努めましょう。



事後対策

- (1) 台風後に雨が少ない場合は、塩害防止のため台風通過後6時間以内に、10a当たり2~3トンを目安に樹体に散水し、付着した塩分を洗い流しましょう。

(担当: 光部)

野菜の台風対策事例

事前対策

●ゴーヤー

- ・つるを下ろし、防風ネットで被覆しましょう。
- ・台風通過後は、つるを元に戻しましょう。



つる下ろし + ネット被覆

●オクラ

- (切り戻し)
- ・倒伏防止等のため、台風接近前に約40cmの高さで切りましょう。
- (株の固定)
- ・ひもを使い支柱に株を固定しましょう。



ハウスペッドによる固定

●その他の事例

- ・葉野菜はコの字支柱を、使用してネットのうきがけを行きましょう。



葉野菜のうきがけ

- ・すいか等、地這い栽培を行う野菜は、ネットをじかがけ被覆しましょう。



すいかのじかがけ

事後対策

●作物を早期に回復させるため下記の作業を行きましょう。

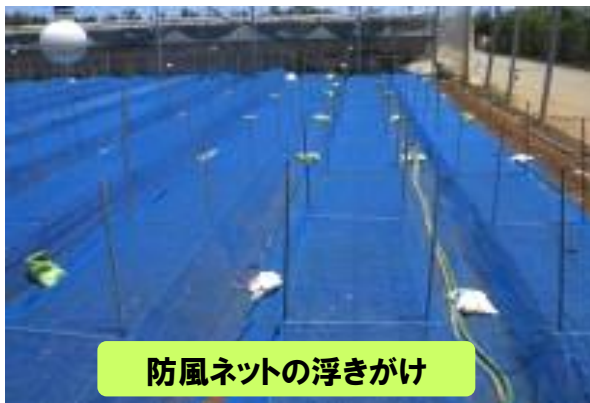
- ・使用したネットは早めに取り除く。
- ・倒れた株は、早めに元に戻し、土寄せを行う。
- ・病害発生予防のため、登録のある殺菌剤を散布する。
- ・茎や葉について、塩分や土は水で洗い流す。
- ・速効性肥料を葉面散布し、草勢回復を図る。

(担当: 譜久嶺)

花きの台風対策事例

[事前対策] ・防風ネットを利用して、風対策を行きましょう。

[事後対策] ・株に付着した泥や塩分を洗い流し、殺菌剤の散布を行きましょう。



防風ネットの浮きかけ



防風ネットの浮きかけ



跳ね上がった泥を洗い流す



台風通過後の除塩・かん水

(担当: 新崎)



さとうきびの夏植えがひと段落したら メイチュウ防除も忘れずに！！

メイチュウはさとうきびの茎の生長点を食害し、収量を減少させる重要害虫です。適切なメイチュウ対策が単収向上につながりますので、しっかり防除を実施しましょう。

メイチュウを畑で見たことはありますか？

枯れた芯葉を引き抜いて、何匹かについている小さな幼虫はメイチュウではありません。これらは芯枯れを起こす犯人ではなく、メイチュウの糞尿や腐敗臭でやってきたコバエなどの幼虫です。防除において、対象をよく知ることは最も大事なことです。



そもそもメイチュウとは茎の中心部を食害する幼虫の総称で、サトウキビでは主にイネヨトウとカンシャシクイハマキの2種類の蛾の幼虫のことを指します。



写真：沖縄県病害虫防除技術センター

イネヨトウは、たびたび大きな被害が発生することから悪名高い一方、カンシャシクイハマキはあまり認知されていませんが本種による芯枯れ被害も多く見られます！

両者は被害の出方がやや異なりますが、どちらも基本的な防除方法は同じです。

発生時期と防除のタイミング

- ✓ 植付けから1か月後頃に葉鞘の隙間に産卵
- ✓ 植付けから2ヵ月後頃に芯枯れ茎が見え始める
- ✓ それまでに薬剤散布を実施しましょう。



- ◎ 植付け～芯枯れ発生前
→ 粒剤 (プレバソン粒剤等)
- ◎ 芯枯れ発生後
→ 乳剤、水和剤、フロアブル剤
(サムコル フロアブル10等)



防除しようと思ったら全滅している...

↑ なんて事がないように！

(担当：伊平屋村駐在 下地)